

自己評価結果（R5年度）

| 評価項目 | 評価内訳（割合） | |
|----------------------------|----------|--------|
| | できている | できていない |
| 1. 総則 | 77.4% | 22.6% |
| (1)教育及び保育の基本と目標 | 85.7% | 14.3% |
| (2)特に配慮すべき事項 | 75.3% | 24.7% |
| 2. 子どもの発達 | 83.7% | 16.3% |
| 3. 「ねらい」及び「内容」 | 73.9% | 26.1% |
| (1)「健康」 | 86.4% | 13.6% |
| (2)「人間関係」 | 83.8% | 16.2% |
| (3)「環境」 | 54.5% | 45.5% |
| (4)「言葉」 | 85.7% | 14.3% |
| (5)「表現」 | 59.1% | 40.9% |
| 4. 低年齢児の保育実施上の配慮事項 | 84.7% | 15.3% |
| (1)乳児期の保育に関する配慮事項 | 85.7% | 14.3% |
| (2)満1歳以上～満3歳未満児の保育に関する配慮事項 | 83.3% | 16.7% |
| 5. 指導計画作成にあたっての配慮すべき事項 | 81.7% | 18.3% |
| 6. 研修と自己評価 | 63.5% | 36.5% |
| 7. 子育て支援 | 73.9% | 26.1% |
| 合計 | 76.3% | 23.7% |

| 達成状況 | できていること | できるとよかったこと |
|------------------------|---|--|
| 1. 総則 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの気持ち安定し、生活ができるよう配慮した。 ・子どもたちの健康状態の把握に努めた。 ・食事のマナーや楽しく食べることができるよう心がけた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・指針、法令、要録など常に振り返り、言葉の意味なども再度確認していく必要があると感じた。常に新しい学びが必要だと感じた。 |
| 2. 子どもの発達 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達の特性などを理解し、各年齢に応じた支援や援助に努めた。 ・子どもが主体性を持って関わろうとする姿を認め、適切な援助等ができた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・個人差があることを理解したうえで、適した関わり方を意識はしているが、集団として活動を進める場合、対応できにくいときがある。 |
| 3. 「ねらい」及び「内容」 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境設定をすることで、子どもが明るく伸び伸びと遊ぶことができている。 ・体操、行進、サーキット等全身を使った遊びを多く取り入れることができている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・楽器あそびができることよい。 ・漢字絵本をやっているのもっと「美しい言葉使い」ができるとなおい。 |
| 4. 低年齢児の保育実施上の配慮事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を理解したうえで、子ども一人ひとりの発達過程にあわせ、援助することができている。 ・衛生環境についてもしっかりできている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人に合った声掛けが不十分と感じたことがある。 ・もっと子供の要求を引き出せるようにできるとよい。 |
| 5. 指導計画作成にあたっての配慮すべき事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・日々の子どもの様子に基づいた指導計画を作成することができている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達の姿や季節の変化、地域社会との関連性などに考慮して作成しているが、もっと興味が広げられるように心がける。 |
| 6. 研修と自己評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの育ちや自分の保育を振り返りながら園内で情報共有することで知識を深めたり、負担の軽減などができている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・研修等で学んだ事柄などがなかなか日常に落とし込めないことがある。ゆとりをもって保育していく必要がある。 |
| 7. 子育て支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者から子育ての悩みや心配事などを相談しやすいような環境づくりに努め、個人面談等を定期的に開催している。 ・未就園児の家庭を対象に園庭を開放し情報提供や相談に応じることができている | <ul style="list-style-type: none"> ・教育、保育の意図をわかりやすく保護者に伝えるよう努めているが、全ての保護者の理解を得ることができないことがある。 |

<来年度取り組むべき課題及び提案>

- ・保育指針、教育要領を再度見直す。
- ・保育士自身の余裕のなさが保育に出てしまうこともあるので、ゆとりをもって保育する。
- ・環境については、絶えずイメージを持ちながらベストの状態に持っていきけるよう心がける。
- ・多くのことを見直すきっかけになった。毎年立ち止まってじっくり見直していきたい。